

H20 建道計第 591 号

平成 20 年 10 月 22 日

国土交通省道路局長 様

仙台市長 梅原 克彦



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

時下、貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より仙台市政にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成 20 年 9 月 29 日付 国道企第 37 号により依頼のありました、「今後の道路行政についての意見・提案」に関しまして、別紙のとおり回答申し上げます。

連絡先：仙台市建設局道路計画課

電 話：022-214-8374(直通)

F A X：022-227-2614

E-mail：ken010110@city.sendai.jp

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

宮城県仙台市

本市では、都市づくりの究極の目標である「暮らしやすい都市」の実現、さらには東北の中核都市として「東北の発展に貢献する都市」の実現に向けて、平成19年1月に「仙台都市ビジョン」を策定しました。このビジョンでは、特に「産業の活性化」と「都市空間の整備・再編」の領域に焦点をあて、仙台の活力と魅力の向上を図っていく取り組みを地域一体となって進めることとしており、これに基づき道路施策を進めております。

近年、自動車組立工場の仙台都市圏への進出が決定するとともに、自動車関連企業の立地が進みつつあります。こうした産業集積を推進し、都市の活性化を図る上で、物流基盤となる道路ネットワークの整備が必要不可欠となってきます。

仙台都市圏における高規格幹線道路等骨格道路ネットワークとしては、まもなく仙台北部道路が完成することで環状道路が整備され、仙台空港や特定重要港湾仙台塩釜港との連携による物流体系が構築されていくが、こうした活力を東北地方全体に拡げていくためには、三陸縦貫自動車道や常盤自動車道など、東北主要都市間を結ぶ広域道路ネットワークの整備をはじめ、自動車、鉄道、海運などの各種交通機関による連携を強化し、総合的な交通体系を構築することで、効率的で、コスト低減が図られる物流ネットワーク構築が求められております。

また、東北の中核都市にふさわしい都市機能の高度化や市民生活の安全・安心を確保する観点から、既存ストックの有効活用を図りながら、質が高く緑豊かな都市空間のための道路整備や、軌道系交通機関を基軸とした公共交通を中心とした機能集約型都市への転換のために必要となる道路整備を計画的かつ確実に推進するとともに、今後、予想される大規模地震に備えた橋梁の震災対策および道路防災対策等のため適切な維持・改修が喫緊の課題となっております。

以上の点を踏まえ、新たな中期計画の策定をお願いするとともに、道路の整備、維持・管理に関しまして、安定かつ十分な財源の確保と制度の構築について要望いたします。

1. 広域交通ネットワークの強化

- 高規格幹線道路等骨格道路網の整備
- 仙台市都市圏骨格道路網の整備

2. 機能集約型都市構造への転換

- 公共交通を中心とした交通体系の構築
- 地下鉄東西線の整備

3. 安全安心な都市の実現

- 快適で安全なバリアフリーの街づくり
- 大規模地震等に備えた道路・橋梁の保全

4. 質が高く緑豊かで美しい都市空間の形成

- 美しさと品格のある景観・街並みの形成
- 既存ストックを活用した都市空間の再編

②-1 地域の現状と抱える課題

宮城県仙台市

○現状

広域ネットワークの未整備

仙台都市圏における高規格幹線道路等骨格道路ネットワークは概ね整備されているものの、特定重要港湾仙台塩釜港への結節機能の強化が求められている。

また、三陸縦貫自動車道など、本市から東北各地の主要拠点間を結ぶ高規格幹線道路ネットワークは、未だ整備中の状況である。

低い都市計画道路の整備率

本市の都市計画道路の整備率は、平成19年度末で67%であり全国的に見ても、低い整備水準である。走行性の高い4車線以上の多車線道路が繋がっていないため、走りづらい道路網となっていることから、交通渋滞の大きな要因となっている。

○課題

広域交通ネットワークの強化

仙台東部道路の仙台港インターチェンジについては、特定重要港湾仙台塩釜港およびその背後地の国際交流・広域物流拠点への結節に必要不可欠なものとして、早期整備が求められる。

また、東北の中核都市として首都圏ならびに他地域と連携し、交流・物流機能の強化を図るため、三陸縦貫自動車道や常磐自動車道などの高規格幹線道路ネットワークの早期整備が求められる。

骨格交通網の整備

本市の骨格道路網を形成する「3環状12放射状線道路」を中心とした幹線道路を整備し、交流・物流機能などの都市機能の向上を図る必要がある。

○ 現状

市街地の外延的拡大による人口密度の減少

本市は、人口増加や経済成長などを背景とした都市規模の拡大に伴い、市街地の外延的拡大が続いてきたため、人口密度が低下している。

モビリティの低下

交通需要の拡大、都市交通施設整備の相対的な遅れ、さらには交通基盤整備の速度を上回る市街地の拡大などにより、都市内交通環境の低下が懸念される。

○ 課題

公共交通を中心とした機能集約型都市の形成

人口密度の低下、モビリティの低下を回避するため、鉄道などの軌道系公共機関を基軸にした公共交通の利用促進を図るとともに、都市機能が集約した市街地を形成し、「公共交通を中心とした機能集約型都市」への転換を目指す必要がある。

そのため、本市の新しい公共交通軸を形成する地下鉄東西線(平成 27 年度開業予定)などの軌道系交通機関との結節機能の強化を図るため、駅前広場やアクセス道路、ならびに他の公共交通機関の収容する空間の整備を行い、公共交通の利便性を向上させる。また、バスの走行性向上を図るため、幹線道路の重点整備を行う。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

様式 ②

宮城県仙台市

○現状

老朽化する橋梁の急速な増加

本市が管理する橋長 15m 以上の橋梁は、現在 310 橋ある。このうち架設後 50 年を経過する橋梁は、11 橋、約 4%を占めているが、20 年後には、115 橋、約 37%となり、老朽化する橋梁が急速に増加する。



歩道整備率

本市で管理している国県市道の歩道整備済み延長、総延長3,284 k mの内760kmであり、整備率は約 23%に留まっている(平成19年3月現在)。

○課題

橋梁の維持修繕費用の縮減および平準化

短期間に橋梁の維持修繕や架け替えの費用が必要となり、事業費の確保が困難となる。

このことから、従来の対症療法的維持修繕手法から予防的手法に転換し、橋梁の延命化等寿命の調整を行うことで、橋梁維持修繕コストの縮減・平準化が可能となる、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、これに沿った橋梁の修繕・架替を実施する必要がある。

交通安全施設整備の推進

全ての市民が安心して生活できる歩道整備やバリアフリー化などの交通安全施設の整備を推進する必要がある。

特に、「仙台市交通バリアフリー基本構想」で設定した重点整備地区(仙台駅周辺、仙台都心、長町、泉中央)についてバリアフリー化を重点的に進める必要がある。

②-1 地域の現状と抱える課題

宮城県仙台市

○現状

杜の都の現状

本市は、古くから「杜の都」と呼ばれてきたが、戦災や都市化の進展でかつての緑が失われ、今日では定禅寺通や青葉通のケヤキ並木などの緑が、「杜の都」を象徴する緑空間になっている。

都心部の歩行者空間の現状

都心部の歩行者空間は、放置自転車、荷捌き車両、電柱類等で雑然とし、それらにより、歩道幅が狭くなっている箇所も見受けられる。

○課題

市街地の「緑の回廊づくり」の推進

「杜の都」にふさわしい緑豊かなまちづくりを推進することが求められる。仙台都心部のおおむね半径2km以内を重点的に緑化する地区と位置づけ、厚みのある緑のネットワークを形成する。

また、「公共交通軸を中心とした機能集約型都市」への転換を目指した地下鉄東西線整備などの施策により、都心部の自動車交通量の削減し、広幅員道路空間の再構成による道路緑化の充実を図る。

都心部の良好で快適な歩行者空間の整備

都心部の歩行者空間の現状を改善するため、中心商店街の通りなどにおいて、景観に配慮した良好で快適な歩行者空間の整備を行い、来街者の回遊性を高めることが求められる。

広域交通ネットワークの強化

東北の各主要都市および空港・港湾とのネットワークを構築するとともに、仙台都市圏における骨格幹線道路網の整備を進めることで、仙台都市圏への企業進出を推進し都市の活性化を図るとともに、東北の中核都市として交流・物流の強化を図り、広域拠点機能を充実し、東北全体の地域力の向上を目指す。

さらに、自動車、鉄道、海運などの各種交通機関による連携を強化し、総合的な交通体系を構築することで、効率的で、コスト低減が図られる物流ネットワーク構築を図る。

機能集約型都市構造への転換

既存の都市資源を活かしながら、軌道系交通機関を基軸とした公共交通を中心とする機能集約型都市への転換のため、駅へのアクセス道路や駅前広場などの交通結節点整備を推進する。

また、高次都市機能の集積を図る中枢拠点、広域的な生活拠点、日常生活機能を支える地域拠点など重層的な都市構造をバランス良く形成するために、都市機能の適正な立地誘導を促す幹線道路網の整備を図る。

安全・安心な都市の実現

市民誰もが快適で安心して暮らすことのできる安全・安心な都市の実現を図る。

- ① 近い将来、発生が確実視されている宮城県沖地震などの自然災害に備え、緊急輸送道路の機能強化を図り、危機管理能力を高めていく。
- ② 今後、老朽化により更新時期を迎える橋梁が、急速に増加するため、橋梁長寿命化事業を進めながら、安全な施設の維持管理に取り組む。
- ③ 全ての市民が安心して生活できる歩道整備やバリアフリー化などの交通安全施設の整備を推進する。

質が高く緑豊かで美しい都市空間の形成

仙台の最大のブランドである「杜の都」を世界に誇れるものとするため、道路空間の再構築などにより、仙台の歴史と伝統に培われた美しさと品格を感じさせる景観・街並みの形成を進め、杜の都の再生を図る。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例, 期待する効果や評価等)

宮城県仙台市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
広域交通ネットワーク強化のための道路整備	仙台東部道路の仙台港インターチェンジ整備 特定重要港湾仙台塩釜港と仙台東部道路を直結させるインターチェンジを整備する。 都市計画道路北四番丁大衡線(北山工区)整備 本路線は, 仙台市都心部から北部住宅地・工業流通団地を経由し, 国道4号バイパスに至る幹線道路であり, 市の骨格道路網である3環状12放射道路の一部として位置づけられている重要路線である。	当該ICを整備することによって, 特定重要港湾仙台塩釜港を活用した物流機能が拡充され, 仙台都市圏をはじめ東北地方における産業立地の促進が期待される。 当該路線を整備することで, 仙台市都心部と北部地域のアクセスが向上することから, 仙台北部・第二仙台北部工業団地との連携により, 物流機能が強化されるとともに, 北部地域から仙台都心部へ向かう自動車の交通渋滞緩和が期待できる。	

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例，期待する効果や評価等)

宮城県仙台市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地下鉄東西線関連道路の優先整備	<u>市道川内旗立線(動物公園駅周辺地区整備)</u> 本市の新しい公共交通軸を形成する地下鉄東西線(平成27年度開業予定)の整備に合わせ、西のターミナル駅となる動物公園駅周辺地区の整備を行う。	駅前広場整備，右・左折レーン設置，駐輪場，およびパーク＆ライド駐車場の整備を行うことにより，交通結節点における円滑な乗り換えが効率的に行えることから，利便性が向上し，公共交通利用の促進が期待できる。	

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例, 期待する効果や評価等)

様式 ④

宮城県仙台市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
安全・安心な都市の実現のための道路整備	橋梁長寿命化修繕計画 今後, 老朽化する道路橋が急激に増加することを踏まえ, 橋梁長寿命化修繕計画を策定する。 長町地区道路特定事業計画 仙台都市圏南部の広域拠点である長町地区において, 「長町地区交通バリアフリー基本構想」に基づき, 特定経路の歩道整備等によりバリアフリー化を図る。	これまでの対症療法的維持修繕手法から計画的かつ予防的手法 (予防保全) に転換を図り, 長寿命化に向けた修繕・架替をすることで, 橋梁架替の直接費用の軽減が可能となる。さらに橋梁の老朽化による通行止めなどによる市民生活への影響を最小限とすることができる。 駅, 商業施設, 公共施設等を繋ぐ歩道の連続性を確保し, バリアフリー化することで, 広域拠点である長町地区において, 高齢者や身体障害者を含めた全ての人が, 安全・安心に道路を利用できる。	

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例, 期待する効果や評価等)

宮城県仙台市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
質が高く緑豊かで美しい都市空間の形成のための道路整備	青葉通の再整備 地下鉄東西線工事の復旧にあわせ, 並木景觀に配慮した新たなケヤキを植栽することや, 既存のケヤキの生育環境の改善を図りながら, 道路空間を再整備する。 市道国分町通線整備 東北一の繁華街である国分町通は, 電柱類や荷捌き車両の駐車等により, 雑然とした状況である。電線共同溝整備を行い, 無電柱化し, 合わせて歩道を拡張する。	仙台駅から青葉山へつながる「杜の都・緑の回廊づくり」の軸線として再生されるとともに, 人と緑と都市機能が調和・共生し, 賑わいや安らぎを生み出す空間を創出できる。 多くの観光客などが訪れる繁華街の整備を行うことにより, 安全や景觀にも配慮した良好な歩行者空間を形成することができる。	

今後の道路行政についての意見・提案について

本市では、都市づくりの究極の目標である「暮らしやすい都市」の実現、さらには東北の中核都市として「東北の発展に貢献する都市」の実現に向けて、平成19年1月に「仙台都市ビジョン」を策定しました。このビジョンでは、特に「産業の活性化」と「都市空間の整備・再編」の領域に焦点をあて、仙台の活力と魅力の向上を図っていく取り組みを地域一体となって進めることとしており、これに基づき道路施策を進めております。

近年、自動車組立工場の仙台都市圏への進出が決定するとともに、自動車関連企業の立地が進みつつあります。こうした産業集積を推進し、都市の活性化を図る上で、物流基盤となる道路ネットワークの整備が必要不可欠となってきます。

仙台都市圏における高規格幹線道路等骨格道路ネットワークとしては、まもなく仙台北部道路が完成することで環状道路が整備され、仙台空港や特定重要港湾仙台塩釜港との連携による物流体系が構築されていくが、こうした活力を東北地方全体に拡げていくためには、三陸縦貫自動車道や常盤自動車道など、東北主要都市間を結ぶ広域道路ネットワークの整備をはじめ、自動車、鉄道、海運などの各種交通機関による連携を強化し、総合的な交通体系を構築することで、効率的で、コスト低減が図られる物流ネットワーク構築が求められております。

また、東北の中核都市にふさわしい都市機能の高度化や市民生活の安全・安心を確保する観点から、既存ストックの有効活用を図りながら、質が高く緑豊かな都市空間のための道路整備や、軌道系交通機関を基軸とした公共交通を中心とした機能集約型都市への転換のために必要となる道路整備を計画的かつ確実に推進するとともに、今後、予想される大規模地震に備えた橋梁の震災対策および道路防災対策等のため適切な維持・改修が喫緊の課題となっております。

以上の点を踏まえ、新たな中期計画の策定をお願いするとともに、道路の整備、維持・管理に関しまして、安定かつ十分な財源の確保と制度の構築について要望いたします。

① 広域交通ネットワークの強化

高規格幹線道路等骨格道路網の整備
仙台市都市圏骨格道路網の整備

② 機能集約型都市構造への転換

公共交通を中心とした交通体系の構築
地下鉄東西線関連道路の整備

③ 安全・安心な都市の実現

快適で安全なバリアフリーの街づくり
大規模地震等に備えた道路・橋梁の保全

④ 質が高く緑豊かで美しい都市形成

美しさと品格のある景観・街並みの形成
既存ストックを活用した都市空間の再編

今後の道路行政についての意見・提案(案)一覧表

様式①：道路行政全般について改善すべき点，要望や提案など	
本市では，都市づくりの究極の目標である「暮らしやすい都市」の実現，さらには東北の中核都市として「東北の発展に貢献する都市」の実現に向けて，平成１９年１月に「仙台都市ビジョン」を策定しました。このビジョンでは，特に「産業の活性化」と「都市空間の整備・再編」の領域に焦点をあて，仙台の活力と魅力の向上を図っていく取り組みを地域一体となって進めることとしており，これに基づき道路施策を進めております。 近年，自動車組立工場の仙台都市圏への進出が決定するとともに，自動車関連企業の立地が進みつつあります。こうした産業集積を推進し，都市の活性化を図る上で，物流基盤となる道路ネットワークの整備が必要不可欠となってきます。 仙台都市圏における高規格幹線道路等骨格道路ネットワークとしては，まもなく仙台北部道路が完成することで環状道路が整備され，仙台空港や特定重要港湾仙台塩釜港との連携による物流体系が構築されていくが，こうした活力を東北地方全体に拡げていくためには，三陸縦貫自動車道や常盤自動車道など，東北主要都市間を結ぶ広域道路ネットワークの整備をはじめ，自動車，鉄道，海運などの各種交通機関による連携を強化し総合的な交通体系を構築することで，効率的で，コスト低減が図られる物流ネットワーク構築が求められております。 また，東北の中核都市にふさわしい都市機能の高度化や市民生活の安全・安心を確保する観点から，既存ストックの有効活用を図りながら，質が高く緑豊かな都市空間のための道路整備や，軌道系交通機関を基軸とした公共交通を中心とした機能集約型都市への転換のために必要となる道路整備を計画的かつ確実に推進するとともに，今後，予想される大規模地震に備えた橋梁の震災対策および道路防災対策等のため適切な維持・改修が喫緊の課題となっております。 以上の点を踏まえ，新たな中期計画の策定をお願いするとともに，道路の整備，維持・管理に関しまして，安定かつ十分な財源の確保と制度の構築について要望いたします。	
1. 広域交通ネットワークの強化	3. 安全安心な都市の実現
○ 高規格幹線道路等骨格道路網の整備	○ 快適で安全なバリアフリーの街づくり
○ 仙台市都市圏骨格道路網の整備	○ 大規模地震等に備えた道路・橋梁の保全
2. 機能集約型都市構造への転換	4. 質が高く緑豊かで美しい都市空間の形成
○ 公共交通を中心とした交通体系の構築	○ 美しさと品格のある景観・街並みの形成
○ 地下鉄東西線関連道路の整備	○ 既存ストックを活用した都市空間の再編

	様式②：地域の現状と抱える課題 【現状】	様式②：地域の現状と抱える課題 【課題】	様式③：地域の目指すべき将来像	様式④：道路施策の重点事項(代表事例，期待する効果や評価等)
広域交通ネットワークの強化	広域ネットワークの未整備 仙台都市圏における高規格幹線道路等骨格道路ネットワークは概ね整備されているものの，特定重要港湾仙台塩釜港への結節機能の強化が求められている。 また，三陸縦貫自動車道など，本市から東北各地の主要拠点間を結ぶ高規格幹線道路ネットワークは，未だ整備中の状況である。 低い都市計画道路の整備率 本市の都市計画道路の整備率は，平成 19 年度末で 67％であり全国的に見ても，低い整備水準である。走行性の高い 4 車線以上の多車線道路が繋がっていないため，走りづらい道路網となっていることから，交通渋滞の大きな要因となっている。	広域交通ネットワークの強化 仙台東部道路の仙台港インターチェンジについては，特定重要港湾仙台塩釜港およびその背後地の国際交流・広域物流拠点への結節に必要不可欠なものとして，早期整備が求められる。 また，東北の中核都市として首都圏ならびに他地域と連携し，交流・物流機能の強化を図るため，三陸縦貫自動車道や常磐自動車道などの高規格幹線道路ネットワークの早期整備が求められる。 骨格交通網の整備 本市の骨格道路網を形成する「3 環状 12 放射状線道路」を中心とした幹線道路を整備し，交流・物流機能などの都市機能の向上を図る必要がある。	広域交通ネットワークの強化 東北の各主要都市および空港・港湾とのネットワークを構築するとともに，仙台都市圏における骨格幹線道路網の整備を進めることで，仙台都市圏への企業進出を推進し都市の活性化を図るとともに，東北の中核都市として交流・物流の強化を図り，広域拠点機能を充実し，東北全体の地域力の向上を目指す。 さらに，自動車，鉄道，海運などの各種交通機関による連携を強化し，総合的な交通体系を構築することで，効率的で，コスト低減が図られる物流ネットワーク構築を図る。	重点事項】 広域交通ネットワーク強化のための道路整備 【代表事例】 ①仙台東部道路の仙台港インターチェンジ整備 特定重要港湾仙台塩釜港と仙台東部道路を直結させるインターチェンジを整備する。 ②都市計画道路北四番丁大衡線(北山工区)整備 本路線は，仙台市都心部から北部住宅地・工業流通団地を経由し，国道 4 号バイパスに至る幹線道路であり，市の骨格道路網である 3 環状 12 放射道路の一部として位置づけられている重要路線である。 【期待する効果や評価等】 ① 当該 I Cを整備することによって，特定重要港湾仙台塩釜港を活用した物流機能が拡充され，仙台都市圏をはじめ東北地方における産業立地の促進が期待される。 ② 当該路線を整備することで，仙台市都心部と北部地域のアクセスが向上することから，仙台北部・第二仙台北部工業団地との連携により，物流機能が強化されるとともに，北部地域から仙台都心部へ向かう自動車の交通渋滞緩和が期待できる。

	様式②：地域の現状と抱える課題 【現状】	様式②：地域の現状と抱える課題 【課題】	様式③：地域の目指すべき将来像	様式④：道路施策の重点事項(代表事例，期待する効果や評価等)
機能集約型都市構造への転換	市街地の外延的拡大による人口密度の減少 本市は，人口増加や経済成長などを背景とした都市規模の拡大に伴い，市街地の外延的拡大が続いてきたため，人口密度が低下している。 モビリティの低下 交通需要の拡大，都市交通施設整備の相対的な遅れ，さらには交通基盤整備の速度を上回る市街地の拡大などにより，都市内交通環境の低下が懸念される。	公共交通を中心とした機能集約型都市の形成 人口密度の低下，モビリティの低下を回避するため，鉄道などの軌道系公共機関を基軸にした公共交通の利用促進を図るとともに，都市機能が集約した市街地を形成し，「公共交通を中心とした機能集約型都市」への転換を目指す必要がある。そのため，本市の新しい公共交通軸を形成する地下鉄東西線(平成 27 年度開業予定)などの軌道系交通機関との結節機能の強化を図るため，駅前広場やアクセス道路，ならびに他の公共交通機関の収容する空間の整備を行い，公共交通の利便性を向上させる。また，バスの走行性向上を図るため，幹線道路の重点整備を行う。	機能集約型都市構造への転換 既存の都市資源を活かしながら，軌道系交通機関を基軸とした公共交通を中心とする機能集約型都市への転換のため，駅へのアクセス道路や駅前広場などの交通結節点整備を推進する。 また，高次都市機能の集積を図る中枢拠点，広域的な生活拠点，日常生活機能を支える地域拠点など重層的な都市構造をバランス良く形成するために，都市機能の適正な立地誘導を促す幹線道路網の整備を図る。	【重点事項】 地下鉄東西線関連道路の優先整備 【代表事例】 市道川内旗立線(動物公園駅周辺地区整備) 本市の新しい公共交通軸を形成する地下鉄東西線(平成 27 年度開業予定)の整備に合わせ，西のターミナル駅となる動物公園駅周辺地区の整備を行う。 【期待する効果や評価等】 駅前広場整備，右・左折レーン設置，駐輪場，およびパーク＆ライド駐車場の整備を行うことにより，交通結節点における円滑な乗り換えが効率的に行えることから，利便性が向上し，公共交通利用の促進が期待できる。
安全・安心な都市の実現	老朽化する橋梁の急速な増加 本市が管理する橋長 15m 以上の橋梁は，現在 310 橋ある。このうち架設後 50 年を経過する橋梁は，11 橋，約 4%を占めているが，20 年後には，115 橋，約 37%となり，老朽化する橋梁が急速に増加する。 歩道整備率 本市で管理している国県市道の歩道整備済み延長，総延長 3,284 k m の内 760km であり，整備率は約 23%に留まっている(平成 19 年 3 月現在)。	橋梁の維持修繕費用の縮減および平準化 短期間に橋梁の維持修繕や架け替えの費用が必要となり，事業費の確保が困難となる。 このことから，従来の対症療法的維持修繕手法から予防的手法に転換し，橋梁の延命化等寿命の調整を行うことで，橋梁維持修繕コストの縮減・平準化が可能となる，橋梁長寿命化修繕計画を策定し，これに沿った橋梁の修繕・架替を実施する必要がある。 交通安全施設整備の推進 全ての市民が安心して生活できる歩道整備やバリアフリー化などの交通安全施設の整備を推進する必要がある。 特に，「仙台市交通バリアフリー基本構想」で設定した重点整備地区(仙台駅周辺，仙台都心，長町，泉中央)についてバリアフリー化を重点的に進める必要がある。	安全・安心な都市の実現 市民誰もが快適で安心して暮らすことのできる安全・安心な都市の実現を図る。 ① 近い将来，発生が確実視されている宮城県沖地震などの自然災害に備え，緊急輸送道路の機能強化を図り，危機管理能力を高めていく。 ② 今後，老朽化により更新時期を迎える橋梁が，急速に増加するため，橋梁長寿命化事業を進めながら，安全な施設の維持管理に取り組む。 ③ 全ての市民が安心して生活できる歩道整備やバリアフリー化などの交通安全施設の整備を推進する。	【重点事項】 安全・安心な都市の実現のための道路整備 【代表事例】 ①橋梁長寿命化修繕計画 今後，老朽化する道路橋が急激に増加することを踏まえ，橋梁長寿命化修繕計画を策定する。 ②長町地区道路特定事業計画に基づく歩道等の整備 仙台都市圏南部の広域拠点である長町地区において，「長町地区交通バリアフリー基本構想」に基づき，特定経路の歩道整備等によりバリアフリー化を図る。 【期待する効果や評価等】 ① これまでの対症療法的維持修繕手法から計画的かつ予防的手法（予防保全）に転換を図り，長寿命化に向けた修繕・架替をすることで，橋梁架替の直接費用の軽減が可能となる。さらに橋梁の老朽化による通行止めなどの市民生活への影響を最小限とすることができる。 ② 駅，商業施設，公共施設等を繋ぐ歩道の連続性を確保し，バリアフリー化することで，広域拠点である長町地区において，高齢者や身体障害者を含めた全ての人が，安全・安心に道路を利用できる。
質が高く緑豊かで美しい都市空間の形成	杜の都の現状 本市は，古くから「杜の都」と呼ばれてきたが，戦災や都市化の進展でかつての緑が失われ，今日では定禅寺通や青葉通のケヤキ並木などの緑が，「杜の都」を象徴する緑空間になっている。 都心部の歩行者空間の現状 都心部の歩行者空間は，放置自転車，荷捌き車両，電柱類等で雑然とし，それらにより，歩道幅が狭くなっている箇所も見受けられる。	市街地の「緑の回廊づくり」の推進 「杜の都」にふさわしい緑豊かなまちづくりを推進することが求められる。仙台都心部のおおむね半径 2 k m 以内を重点的に緑化する地区と位置づけ，厚みのある緑のネットワークを形成する。 また，「公共交通軸を中心とした機能集約型都市」への転換を目指した地下鉄東西線整備などの施策により，都心部の自動車交通量の削減し，広幅員道路空間の再構成による道路緑化の充実を図る。 都心部の良好で快適な歩行者空間の整備 都心部の歩行者空間の現状を改善するため，中心商店街の通りなどにおいて，景観に配慮した良好で快適な歩行者空間の整備を行い，来街者の回遊性を高めることが求められる。	質が高く緑豊かで美しい都市空間の形成 仙台の最大のブランドである「杜の都」を世界に誇れるものとするため，道路空間の再構築などにより，仙台の歴史と伝統に培われた美しさと品格を感じさせる景観・街並みの形成を進め，杜の都の再生を図る。	【重点事項】 質が高く緑豊かで美しい都市空間の形成のための道路整備 【代表事例】 ①青葉通の再整備 地下鉄東西線工事の復旧にあわせ，並木景観に配慮した新たなケヤキを植栽することや，既存のケヤキの生育環境の改善を図りながら，道路空間を再整備する。 ②市道国分町通線整備 東北一の繁華街である国分町通は，電柱類や荷捌き車両の駐車等により，雑然とした状況である。電線共同溝整備を行い無電柱化し，合わせて歩道を拡幅する。 【期待する効果や評価等】 ① 仙台駅から青葉山へつながる「杜の都・緑の回廊づくり」の軸線として再生されるとともに，人と緑と都市機能が調和・共生し，賑わいや安らぎを生み出す空間を創出できる。 ② 多くの観光客などが訪れる繁華街の整備を行うことにより，安全や景観にも配慮した良好な歩行者空間を形成することができる。

仙台市は、今後以下の4つの目指すべき将来像を実現するための道づくりを進めます。

【地域の目指すべき将来像】

1. 広域交通ネットワークの強化

東北の各主要都市および空港・港湾とのネットワークを構築するとともに、仙台都市圏における骨格幹線道路網の整備を進めることで、仙台都市圏への企業進出を推進し都市の活性化を図るとともに、東北の中核都市として交流・物流の強化を図り、広域拠点機能を充実し、東北全体の地域力の向上を目指す。

さらに、自動車、鉄道、海運などの各種交通機関による連携を強化し、総合的な交通体系を構築することで、効率的で、コスト低減が図られる物流ネットワーク構築を図る。

2. 機能集約型都市構造への転換

既存の都市資源を活かしながら、軌道系交通機関を基軸とした公共交通を中心とする機能集約型都市への転換のため、駅へのアクセス道路や駅前広場などの交通結節点整備を推進する。

また、高次都市機能の集積を図る中核拠点、広域的な生活拠点、日常生活機能を支える地域拠点など重層的な都市構造をバランス良く形成するために、都市機能の適正な立地誘導を促す幹線道路網の整備を図る。

3. 安心・安全な都市の実現

市民誰もが快適で安心して暮らすことのできる安全・安心な都市の実現を図る。

- ① 近い将来、発生が確実視されている宮城県沖地震などの自然災害に備え、緊急輸送道路の機能強化を図り、危機管理能力を高めていく。
- ② 今後、老朽化により更新時期を迎える橋梁が急速に増加するため、橋梁長寿命化事業を進めながら、安全な施設の維持管理に取り組む。
- ③ 全ての市民が安心して生活できる歩道整備やバリアフリー化などの交通安全施設の整備を推進する。

4. 質が高く緑豊かで美しい都市空間の形成

仙台の最大のブランドである「杜の都」を世界に誇れるものとするため、道路空間の再構築などにより、仙台の歴史と伝統に培われた美しさと品格を感じさせる景観・街並みの形成を進め、杜の都の再生を図る。

現況と課題

現況①広域ネットワークの未整備

- ・仙台都市圏における高規格幹線道路ネットワークは概ね整備されているものの、特定重要港湾仙台塩釜港への結節機能の強化が求められている。
- ・三陸縦貫自動車道など、東北各地の主要拠点間を結ぶ高規格幹線道路ネットワークは未整備である。

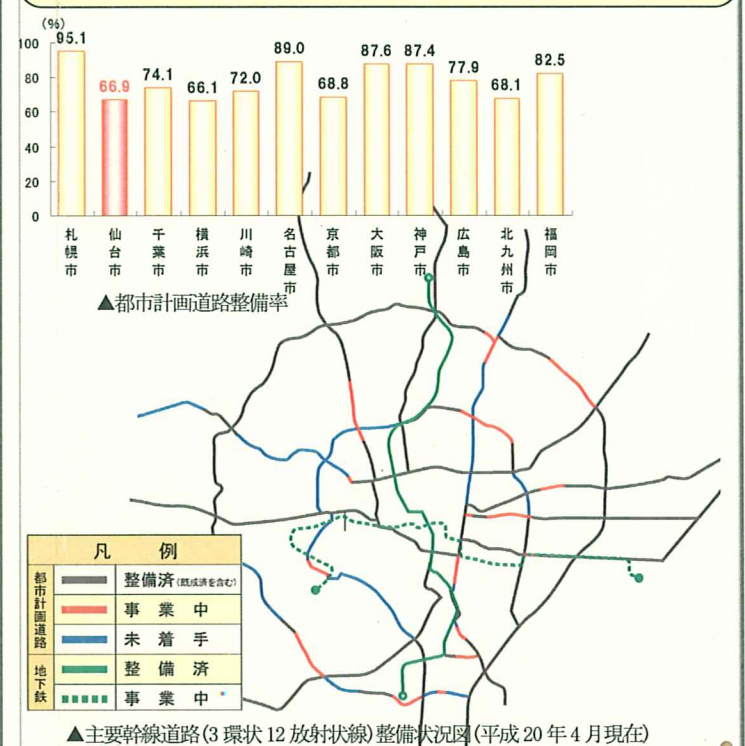


課題① 物流拠点や他地域との交流・連携を支援する広域ネットワークの強化

- 特定重要港湾仙台塩釜港への結節機能の強化
- 他地域との交流・連携の強化を図る三陸縦貫自動車道などの高規格幹線道路ネットワークの形成

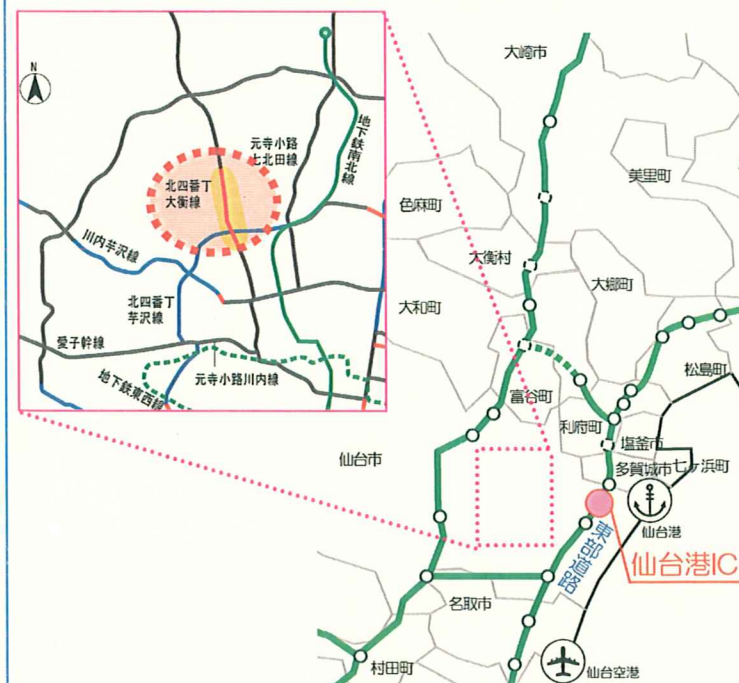
現況②低い都市計画道路の整備率

- ・都市計画道路の整備率は、全国的に見ても低い整備水準である。
- ・走行性の高い4車線以上の多車線道路が繋がっていないため、走りづらい道路網となっていることから、交通渋滞の大きな要因となっている。



課題② 「3環状12放射状線道路」を中心とした骨格交通網の整備

代表事業



都市計画道路北四番丁大衡線(北山工区)整備 仙台市都心部～北部地域の連絡を強化します！

仙台市都心部から北部住宅地・工業流通団地を經由し、国道4号バイパスに至る幹線道路であり、アクセス向上による物流機能の強化と都心～北部地域の交通渋滞緩和を図ります。



仙台港IC整備

仙台港との連携を強化します！

特定重要港湾仙台塩釜港と仙台東部道路を直結させるインターチェンジを整備し、物流機能の強化を図ります。



4. 質が高く緑豊かで美しい都市空間の形成

仙台市

現況と課題

現況①杜の都を象徴する街路の並木

- ・仙台は、古くから「杜の都」と呼ばれてきたが、戦災や都市化の進展でかつての緑が失われ、今日では定禅寺通や青葉通のケヤキ並木などの緑が、「杜の都」を象徴する緑空間になっている。
- ・「百年の杜づくり行動計画」に沿って市街地の「緑の回廊づくり」を形成する主要な10路線の緑化を進めている。



▲緑の回廊づくり配置図



▲青葉通のケヤキ並木

課題①市街地の「緑の回廊づくり」の推進

現況②景観に配慮した歩行空間の整備が必要です

中心商店街の通りなどにおいて、景観に配慮した良好で快適な歩行者空間の整備を行い、来街者の回遊性を高める必要がある。

課題②都心部の良好で快適な歩行者空間の整備

都心部の歩道は、放置自転車、荷捌き車両、電柱類等で雑然とし、歩行空間も狭い状態



▲広瀬通



▲国分町通

代表事業

青葉通の再整備

杜の都を象徴する空間づくり

として再生します！

仙台駅から青葉山へつながる「杜の都・緑の回廊づくり」の軸線として再生していくとともに、人と緑と都市機能が調和・共生し、賑わいや安らぎを生み出す空間づくりをしていきます。



市道国分町通線整備

東北一の繁華街にふさわしい道づくりを進めます！

東北一の繁華街である国分町通は、電柱類や荷捌き車両の駐車等により、雑然としている状況です。電線共同溝整備に合わせ、歩道を拡張し回遊性・都市景観の向上を図ります

